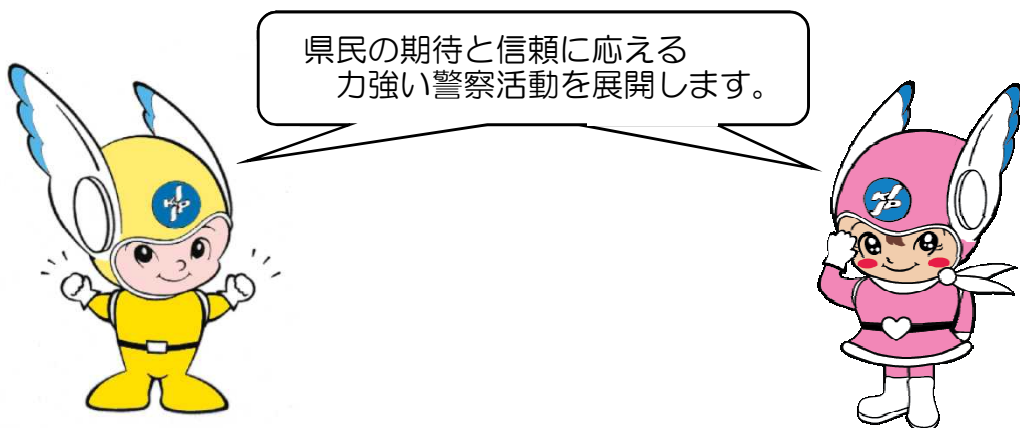


平成31年2月8日

平成31年度警察費当初予算（案）

- 平成31年度警察費当初予算（案）の特徴
- 大規模イベントを見据えた警備諸対策
- 映像伝送システムの整備
- 交通安全施設整備費の概要
- 警察施設整備費の概要
- 緑警察署新築工事費

(注)各表中の金額は、表示単位未満切捨てのため、合計と符合しないことがあります。



警 察 本 部

(担当 会計課 課長代理 電話 045-211-1212 (内線) 2211)

平成31年度警察費当初予算（案）の特徴

【基本的な考え方】	【前年度対比】				
	平成31年度 当初予算（案）	平成30年度 当初予算	増 減		
			予 算 額	率	
安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向け、特殊詐欺やサイバー空間における脅威への対応を始めとした治安対策とオリンピック・パラリンピック等の大規模イベント開催を見据えた警備諸対策に予算の重点配分を行い、県民の期待と信頼に応える力強い警察活動を展開するための予算案とした。	人件費	1,685億9,925万円	1,680億4,844万円	5億5,080万円	0.3%
	物件費	298億5,250万円	356億199万円	△57億4,948万円	△16.1%
	交通安全施設整備費	37億4,401万円	32億9,050万円	4億5,351万円	13.8%
	警察施設整備費	39億6,778万円	106億7,471万円	△67億693万円	△62.8%
	その他物件費	221億4,071万円	216億3,678万円	5億393万円	2.3%
	合計	1,984億5,175万円	2,036億5,043万円	△51億9,868万円	△2.6%

柱／主な施策等／主な事業名	予 算 案	事 業 内 容 等
安全で安心して暮らせる地域社会の実現		
人件費	1,685億9,925万円	警察職員の人件費 警察官 15,703人（増減なし） 一般職員 1,675人（増減なし）
給与費（警察本部費）		
非常勤職員報酬（警察本部費）		
特殊詐欺を始めとした県民に不安を与える犯罪の抑止・検挙	125億9,876万円	犯罪の抑止、街頭活動及び検挙活動強化のための経費
振り込め詐欺被害防止対策推進事業費		
人身安全関連事案に対する的確な対処	6,247万円	DVやストーカー対策等の人身安全関連事案に対処するための経費
生活安全警察費		
交通死亡事故抑止総合対策の強化	98億6,905万円	交通安全施設の整備や交通安全教育を行い、交通死亡事故等を抑止するための経費
交通安全施設整備費		
テロ、大規模災害等総合対策の強化	6億6,976万円	有事における警察活動及び総合的な指揮を円滑に推進するための経費 オリンピックを始めとした大規模イベントにおける警備諸対策に必要な経費
オリンピック・パラリンピック等に向けた総合対策の推進		
オリンピック・パラリンピック推進事業費		
(新) ラグビーワールドカップ2019等対策費		
(新) 映像伝送システム運用費		
サイバー空間の脅威に対する総合対策の強化	4,964万円	サイバー空間における犯罪に対処するため、人的及び物的基盤を強化する経費
サイバー犯罪対策費		
総合的な組織犯罪対策の強化	1億2,143万円	暴力団や国際犯罪組織などの反社会的集団等に対する総合対策を推進し、犯罪インフラ等を撲滅するための経費
組織犯罪対策費		
少年非行防止・保護総合対策の強化	4,639万円	少年の非行防止及び保護に係る総合対策を強力に推進するための経費
少年警察費		
県民の安心感を高める街頭活動の強化	24億6,720万円	地域警察官等の街頭活動を強化するために必要な車両、船舶、ヘリコプターの整備及び維持に必要な経費
警察車両整備費		
ヘリコプター維持運営費		
警察活動基盤の整備（警察施設整備費）	39億6,778万円	警察活動の基盤となる警察署等の施設を整備するための経費 ・茅ヶ崎警察署：3か年工事最終年 ・浦賀警察署：3か年工事2年目 ・緑警察署：3か年工事初年度 ・津久井警察署新築工事設計 ・田浦警察署耐震補強工事 ・交番等新築 （（仮称）殿町地区交番、鎌倉山駐在所） ・運転免許センターPFI事業 等
茅ヶ崎警察署新築工事費		
浦賀警察署新築工事費		
(新) 緑警察署新築工事費		
(新) 警察署新築工事設計費		
(新) 警察署耐震補強工事費（補助事業）		
交番新築工事費		
運転免許試験場特定事業費		

大規模イベントを見据えた警備諸対策

1 目的

東京オリンピック・パラリンピック競技大会等世界的に注目が集まる大規模イベントの安全かつ円滑な運営を確保するため、警備諸対策を推進する。

2 予算額

5億4,026万円

3 事業内容

会場周辺に防犯カメラ及び気球カメラを設置し、映像分析システムにより、カメラ映像から群集の異常な混雑状況や不審物件の置き去りを検知するとともに、自爆テロ車両防御用バリア等を整備し、雑踏事故やテロを未然に防止する。

【運用イメージ】



【主な導入資機材】

《自爆テロ車両防御用バリア》

観客の動線等への侵入を図る車両を阻止し、安全を確保する。



《多言語対応情報板》

4か国語（日、英、韓、中）に対応した広報文をスクロール表示し、多角的な広報・誘導を行う。



映像伝送システムの整備

1 目的

駅構内等でテロや大規模災害等が発生した際、迅速・的確な措置を行うため、鉄道事業者が設置している防犯カメラの映像を県警察が受信するシステムを構築する。

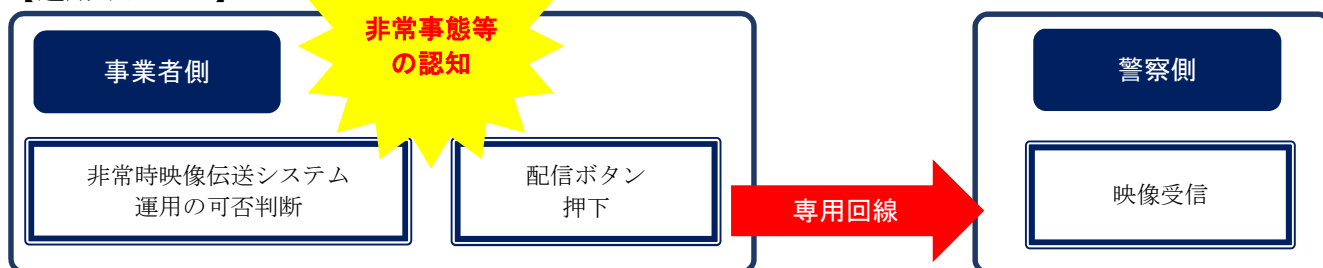
2 予算額

918万円

3 事業内容

駅構内等でテロや大規模災害等が発生した際、鉄道事業者の判断に基づき、事業者が設置した防犯カメラの映像を警察本部に伝送し、迅速・的確な初動対応及び救助活動を行う。

【運用イメージ】



問い合わせ先

- オリンピック・パラリンピック及びラグビーワールドカップ警備諸対策に関すること
警察本部警備部オリンピック・パラリンピック対策課 課長代理
電話045-211-1212（内線）6411
- 上記以外の警備諸対策に関すること
警察本部警備部警備課 課長代理 電話045-211-1212（内線）5711

交通安全施設整備費の概要

1 目的

- 道路利用者の交通の安全と円滑な交通環境を確保するため、交通安全施設を計画的に整備する。

2 事業費内訳

事業名 / 内容	予算額
交通管制施設設備費 老朽化した集中制御機等の更新を行い、エリア及び周辺の交通の安全の確保と円滑化を推進する。 [主な整備内容] 集中制御機の更新：50基	5億8,147万円
交通信号機改良費 老朽化した単独制御機等の更新及び感応化、多現示化等の付加機能による既設信号機の改良を行い、交通実態に対応した信号機の整備を推進する。 [主な整備内容] プログラム多段化：121基、灯器LED化：400式	8億8,312万円
道路標識等整備費 オリンピック・パラリンピック大会会場周辺の道路標識及び道路標示を整備し、安全対策を推進する。 [主な整備内容] 道路標示の補修：56.0km、一時停止標識の英字併記化：283本	9,362万円
円滑化対策交通安全施設整備事業費 交差点改良による信号柱の移設及び災害対策のための配線地中化等、渋滞対策と交通流の円滑化を推進する。 [主な整備内容] 信号柱更新：389式、配線地中化：10か所	3億7,580万円
大型道路標識設置費 老朽化した大型道路標識の更新等を推進する。 [主な整備内容] 大型道路標識の更新：153本	1億4,860万円
路側式道路標識、標示設置費 道路標識や道路標示の新設、補修を行い、効果的な交通規制を推進するとともに、オリンピック・パラリンピックや少子高齢化を見据え、視認性の低下が懸念される道路標示の緊急補修を実施する。 [主な整備内容] 道路標示の補修：401.3km、路側式道路標識の更新：3,678本	9億3,777万円
交通安全施設更新事業費 老朽化した単独制御機、信号灯器及び信号柱を更新し、交通安全施設を適切に維持する。 [主な整備内容] 信号灯器の更新：57式、信号柱の更新：300式	6億3,255万円
交通信号機等設置費 信号機の新規設置等により、交通の安全と円滑化を推進する。 [主な整備内容] 信号機の新設：12か所	9,104万円

問い合わせ先

警察本部交通部交通規制課 課長代理 電話045-211-1212 (内線) 5161

警察施設整備費の概要

1 目的

- 県民の安全を守る警察活動拠点である「警察署」及び「交番」などについて、社会情勢の変化への対応及び施設の老朽や狭あい、耐震性の状況などを視野に入れ計画的な整備を行う。

2 事業費内訳

事業名 / 内容	予算額												
茅ヶ崎警察署新築工事費	6億6,200万円												
平成29年度～平成31年度 継続事業 総額： 22億 600万円													
浦賀警察署新築工事費	12億4,300万円												
平成30年度～平成32年度 継続事業 総額： 19億1,100万円													
新 緑警察署新築工事費 ※「緑警察署新築工事費」参照	6,300万円												
平成31年度～平成33年度 継続事業 総額： 21億5,300万円													
新 警察署新築工事設計費	9,280万円												
津久井警察署新築工事に係る設計費													
新 警察署耐震補強工事費	1億8,000万円												
田浦警察署庁舎耐震補強工事に係る経費													
警察署耐震補強工事調査設計費	2,350万円												
旭警察署庁舎耐震補強工事に係る設計費													
警察署新築工事関連事業費	1,600万円												
警察署新築工事に伴い、周辺建物の電波受信、家屋等の状況を調査する経費													
☆ 運転免許試験場特定事業費	15億7,448万円												
民間活力活用（PFI方式）による運転免許センターの整備、維持管理に係る経費 平成27年度～平成49年度 特定事業契約 総額： 201億7,084万円 平成31年度整備内容：待合棟等の整備													
交番新築工事費	1億1,300万円												
交番・駐在所の新築工事に係る経費													
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>所属名</th> <th>交番・駐在所</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>川崎臨港警察署</td> <td>(仮称) 殿町地区交番</td> <td>移転建替</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>鎌倉警察署</td> <td>鎌倉山駐在所</td> <td>老朽建替</td> </tr> </tbody> </table>		所属名	交番・駐在所	区分	1	川崎臨港警察署	(仮称) 殿町地区交番	移転建替	2	鎌倉警察署	鎌倉山駐在所	老朽建替	
	所属名	交番・駐在所	区分										
1	川崎臨港警察署	(仮称) 殿町地区交番	移転建替										
2	鎌倉警察署	鎌倉山駐在所	老朽建替										

問い合わせ先

☆以外 警察本部総務部施設課 課長代理 電話 045-211-1212 (内線) 2261

☆について 警察本部交通部運転免許本部運転免許課

新庁舎建設室長 電話 045-211-1212 (内線) 785-290

(新) 緑警察署新築工事費

現 状 (沿革等)	昭和48年3月 庁舎建築（築後45年経過） → 警察事象の増加に伴う狭あい化、各種設備の老朽化 耐震診断結果 → 大規模な補強が必要																	
事業内容	地域の安全・安心の要、治安維持の拠点、さらには大規模地震発生時における応急活動拠点として、県民の安全と安心を守る機能を備えた庁舎への建替えを実現するため、平成29年度の調査基本設計、平成30年度の実施設計に引き続き、平成31年度から3か年継続事業としての庁舎新築工事に着手する。																	
予 算 額 (継続費)	平成31年度～平成33年度 3か年継続事業 総予算額 21億5,300万円 【内訳】																	
	平成31年度	平成32年度	平成33年度															
	6,300万円	13億7,200万円	7億1,800万円															
施設等の概要	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 45%;">旧 施 設</th> <th style="width: 45%;">新 施 設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">所在地</td> <td>横浜市緑区台村町135番地の14</td> <td>横浜市緑区中山町93番地の1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">敷 地</td> <td>県有地 3,680.43㎡</td> <td>市有地 約4,348.00㎡</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">建 物</td> <td>(庁舎) RC-4他 2,083.98㎡ (車庫棟) 132.00㎡</td> <td>(庁舎) RC-4 3,416.27㎡ (車庫棟) 270.45㎡</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">合 計 2,215.98㎡</td> <td style="text-align: center;">合 計 3,686.72㎡</td> </tr> </tbody> </table>				旧 施 設	新 施 設	所在地	横浜市緑区台村町135番地の14	横浜市緑区中山町93番地の1	敷 地	県有地 3,680.43㎡	市有地 約4,348.00㎡	建 物	(庁舎) RC-4他 2,083.98㎡ (車庫棟) 132.00㎡	(庁舎) RC-4 3,416.27㎡ (車庫棟) 270.45㎡		合 計 2,215.98㎡	合 計 3,686.72㎡
	旧 施 設	新 施 設																
所在地	横浜市緑区台村町135番地の14	横浜市緑区中山町93番地の1																
敷 地	県有地 3,680.43㎡	市有地 約4,348.00㎡																
建 物	(庁舎) RC-4他 2,083.98㎡ (車庫棟) 132.00㎡	(庁舎) RC-4 3,416.27㎡ (車庫棟) 270.45㎡																
	合 計 2,215.98㎡	合 計 3,686.72㎡																
主 な 機能強化	<ol style="list-style-type: none"> 1 災害時の応急活動拠点としての機能整備 大規模地震に耐えられる構造とし、災害発生時における応急活動の拠点となる警察署として整備する。 2 地域住民への行政サービスの充実強化 窓口待合スペース、相談室及び免許講習室を拡充する。 3 かながわソーラープロジェクトの推進 災害時における必要最小限の電力確保及び平常時の省エネルギー対策に資するため太陽光発電設備を整備する。 																	
【緑警察署：外観予想図】																		
																		